

(参考)

# 課題解決型高度医療人材養成プログラム概要



高等教育局医学教育課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 課題解決型高度医療人材養成プログラム

平成26年度予算額:10億円

## 概要

高度な教育力・技術力を有する大学が核となって、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供できる優れた医師・歯科医師・看護師・薬剤師等を養成するための教育プログラムを実践・展開する

## 背景 課題

◇健康長寿社会を実現するための疾患克服が課題 ◇人口減少・少子化の進行

医師・歯科医師

### 高度医療専門人材の不足

・病院基盤部門を担う医療安全・感染制御領域等の専門人材養成と体制充実

### 社会から求められる多様な医療ニーズの増加

・難治性疾患領域や高難度手術(移植医療等)領域等を担う専門人材養成

### 高齢化に伴う歯科医療ニーズの変化

・口腔疾患と全身疾患の関わりに関する領域を担う高度な歯科医師の養成

我が国が抱える  
医療現場の諸課題

看護師・薬剤師等のメディカルスタッフ

### チーム医療の推進

・チーム医療推進のための専門性の強化と役割の拡大に応えるため、学生・医療人の実践能力の強化等

### 教育と臨床の連携強化

・学生・医療人の実践能力を強化するため、教育と臨床が連携し、卒前・卒後の学生・医療人の教育指導体制の構築等

### 地域医療連携の推進

・地域医療連携にかかわる業務に精通し、学生・医療者に地域医療連携の視点や実践を教育できる教育指導者の養成等

## 取組

【取組1】医師・歯科医師を対象とした教育プログラム

14件×50,000千円

横断的な診療力とマネジメント力の  
両方を兼ね備えた医師養成

特に高度な知識・技能が必要と  
される分野の医師養成

健康長寿社会の実現に貢献する  
歯科医療人養成



【取組2】看護師・薬剤師を対象とした教育プログラム 12件×25,000千円

対象職種：看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、歯科衛生士、歯科技工士



卒前・卒後の継続的な教育プログラム  
開発と教育指導体制の構築

臨床での教育指導者養成と大学  
教員・教育指導者の人材交流

地域医療にも貢献できるメディカル  
スタッフの養成

## 成果

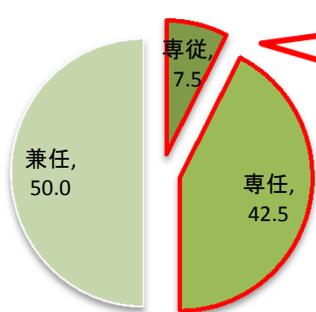
高度医療専門人材の輩出、我が国が抱える医療課題の解決、健康立国・健康長寿社会の実現

# 取組(1) 医師・歯科医師を対象とした教育プログラム

## 背景

### 高度医療専門人材の不足

国立大学病院における感染制御部門等に所属する医師  
(部長クラス)の専従・専任・兼任の状況(%)

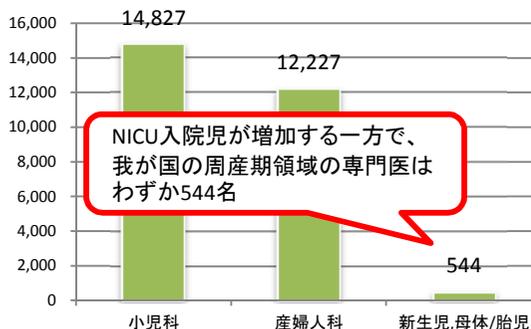


国立大学でも感染制御部門等に専従又は専任で対応している医師は約50%しかいない。

出典: 国立大学附属病院感染対策協議会(H24)

### 社会から求められる 多様な医療ニーズの増加

小児科等の専門医数(人)

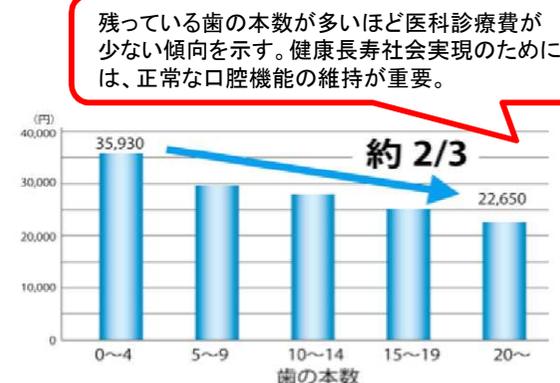


NICU入院児が増加する一方で、我が国の周産期領域の専門医はわずか544名

出典: 日本専門医制評価・認定機構(H24.8)

### 医科歯科連携による健康寿命の延伸

歯の本数と医科診療費の関連



残っている歯の本数が多いほど医科診療費が少ない傾向を示す。健康長寿社会実現のためには、正常な口腔機能の維持が重要。

出典: 8020運動に基づく歯と全身の健康に関する実態調査2007  
(北海道国民健康保険団体連合会)

## 課題

◇健康長寿社会を実現するための疾患克服が課題 ◇人口減少・少子化の進行

- ・病院基盤部門等を担う医療安全・感染制御領域の専門人材養成と体制充実
- ・災害医療対応能力の強化
- ・臨床研究推進のための「研究デザイン」教育や臨床医学教育を担う専門指導者等の養成

- ・難治性疾患領域(臨床病理診断も含む)の診断や治療を担う専門人材養成
- ・高難度手術(移植医療等)領域を担う専門人材養成
- ・小児周産期領域の集学的医療体制の更なる強化

- ・歯科疾患と全身疾患の関係に関する歯学教育の促進等

## 取組

横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成

特に高度な知識・技能が必要とされる分野の医師養成

健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成

## 成果

高度医療専門人材の輩出、我が国が抱える医療課題の解決、健康立国・健康長寿社会への実現

# ① 横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成

## 課題

◇医療現場の諸課題に対して高度で専門的な知識を有した医師の養成が急務(病院運営の基盤となる領域の人材養成)  
◇健康寿命の延伸、次世代の健康づくり、疾病予防等に資する臨床研究の推進

## 対応

◇横断的な診療力とリーダーシップが発揮できマネジメント力の両方を兼ね備えた医師の養成  
◇治療方法の開発・実用化や診断法の性能、予防法の効果をデザインできる臨床研究人材の養成

### 各領域の課題

#### 医療の質管理領域 (医療安全・感染制御)

- ・医療安全領域の専門人材養成
- ・安全に関する体系的教育整備
- ・感染制御領域の専門人材養成
- ・感染症の予防・拡大防止と感染症診療の充実

#### 災害医療領域

- ・災害医療領域の専門人材養成
- ・災害サイクル(急性期～静穏期)に合わせた災害医療活動の提供
- ・刻々と変化する医療ニーズへの対応

#### 臨床医学教育・研究領域

- ・臨床医学教育領域の専門人材養成
- ・教育効果を高めるための教育システムの構築
- ・臨床研究デザイン領域の専門人材養成
- ・「研究デザイン学」教育の構築

### 課題解決策

横断的な診療力とマネジメント力を有した高度専門医療人材の養成

## 成果

◇医療安全・感染制御領域等、病院運営の基盤領域を担う専門人材の養成及び増加

### 対応プログラム例

〇〇〇大学高度医療人材養成プログラム

#### 取組①

#### 横断的な診療力を身につける教育プログラム

- ◇専門医療人材の教育プログラム開発、キャリアパス構築
- ◇地域医療機関や施設等で携わる医療従事者等への研修会等の開催
- ◇臨床研究の実践的・体系的な教育システムの構築
- ◇臨床研究スキルアップセミナー等の開催
- ◇医療安全領域等への専任医師の配置

#### 取組②

#### マネジメント力を身につける教育プログラム

- ◇病院マネジメント力(経営戦略,人材管理,制度政策,会計管理等)の習得
- ◇コミュニケーション力、対話力等の習得
- ◇チーム医療を推進するスキル学習
- ◇情報リテラシー、リスクコミュニケーション等の習得
- ◇他機関・行政・自治体等との連携や事業への参画
- ◇新たな組織横断チームの設置(例:災害対策マネジメントチーム等)



## 効果

◇医療の質の向上 ◇臨床研究・実用化研究の推進  
◇健康長寿社会の実現

## ② 特に高度な知識・技能が必要とされる分野の医師養成

### 課題

◇医療の進歩・発展により医師に求められる知識・技能の高度化、社会から求められる医療ニーズの多様化等により、高度な知識・技能を有した医師の養成が急務  
 ◇「治す医療」に加えて、「支える医療」の視点も加わった健康寿命への延伸

### 対応

◇大学病院間等の拠点化・ネットワーク化による幅広い知識・技術・症例を習得できる高度な医療人材の養成

### 各領域の課題

#### 難治性疾患 診断・治療領域 [臨床病理を含む]

- ・難治性疾患を担う医師の養成
- ・難治性疾患を有する患者増加への対応
- ・最終診断確定を支援する臨床病理診断医の養成
- ・がん患者等の増加や医療の高度化に伴う臨床病理診断の増加への対応

#### 高難度手術領域

- ・高難度手術・技術(移植医療等)を担う医師の養成
- ・臓器移植法の改正による脳死下移植手術増加への対応等

#### 小児周産期領域

- ・生殖医療、ハイリスク分娩等を担う医師の養成
- ・新生児難治疾患や小児在宅医療等を担う医師等の養成、長期入院児対応、退院に繋がるシステム等の構築

### 課題解決策

大学病院間等の拠点化・ネットワーク化による高度専門医療人材の養成

### 成果

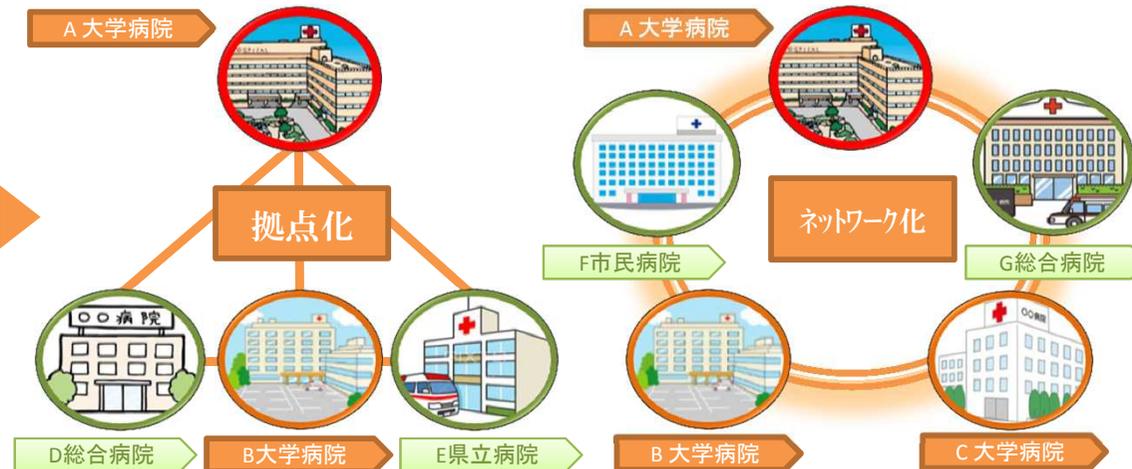
◇大学病院間等の拠点化・ネットワーク化による専門人材の養成及び増加

### 対応プログラム例

〇〇〇大学高度医療人材養成プログラム

#### 取組例①

#### 取組例②



◇大学病院間等の拠点化・ネットワーク化による人材養成  
 ◇高度医療人材養成プログラム開発と実践  
 ◇教育指導者の養成

◇教育コーディネータの配置  
 ◇多職種とも連携した人材養成  
 ◇研究マインド向上のためのシステム確立

◇豊富な症例数の確保  
 ◇症例データベースの構築  
 ◇指導医・専門医等の資格取得支援

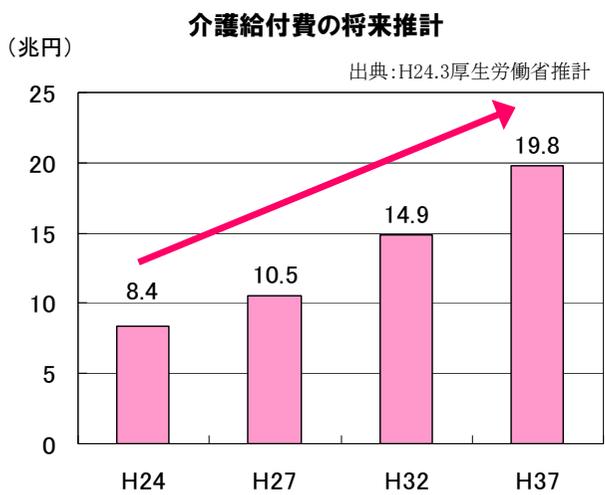
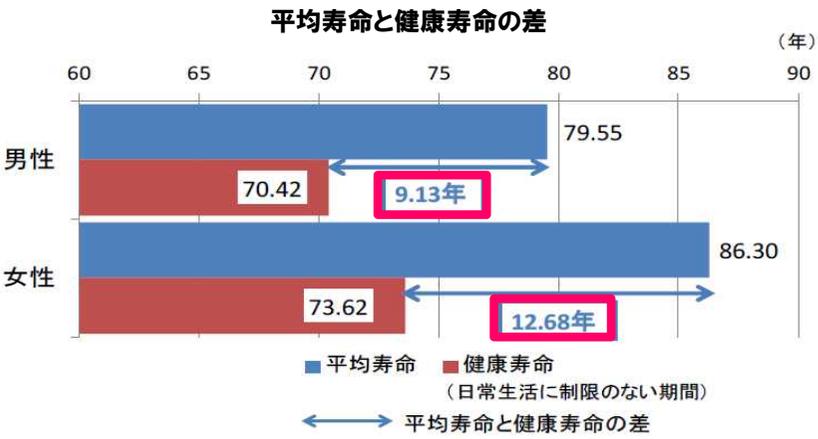
### 効果

◇医療の質の向上 ◇我が国の医療水準の向上  
 ◇健康長寿社会の実現

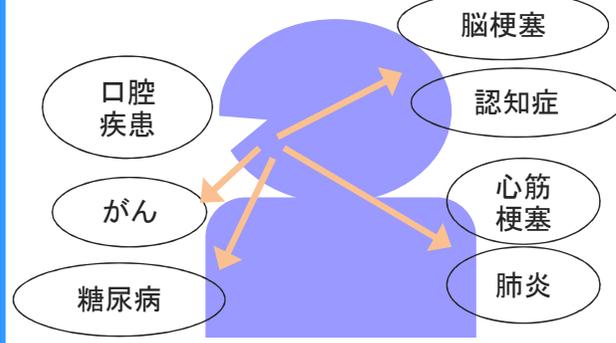
# ③健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成

背景

●急速な高齢化に対応するためには健康長寿社会の実現(健康寿命の延伸)が喫緊の課題



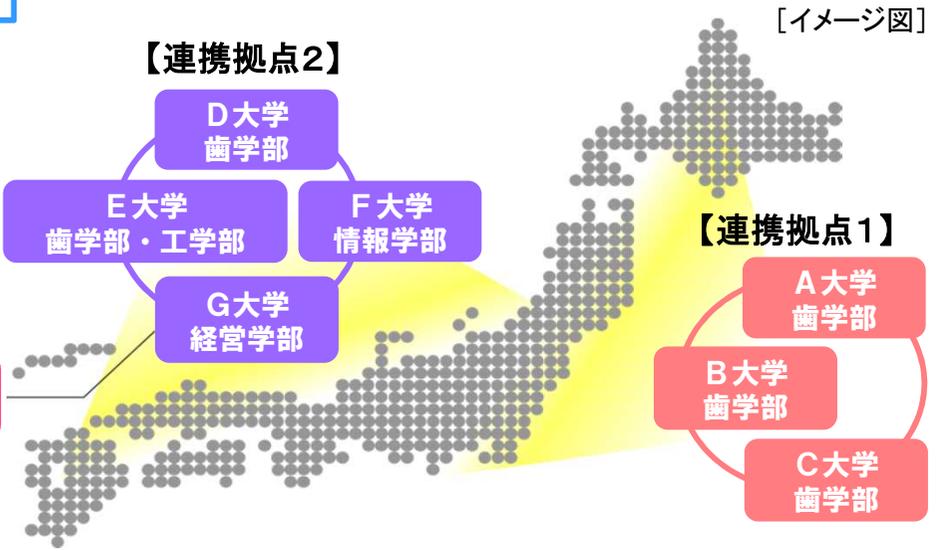
●健康長寿社会を実現するためには、  
 ✓生涯を通して正常な口腔機能の維持  
 ✓口腔疾患と全身疾患の関わりに関する領域の高度化  
 ✓超高齢社会に対応した歯科医療等への対応が必要



対応 ●国公立大学を通じた歯学部間の連携により、健康長寿社会の実現に貢献する優れた歯科医療人養成モデルを構築し、全国に普及

※各連携拠点における取組の成果を全国へ普及

※各大学の自由な発想に基づき、課題解決に向けた事業計画を立案  
 ※最も優れた事業計画を選定し支援



成果 ●大学における歯学教育改革の推進  
 ●国民の期待に応える優れた歯科医師等の養成

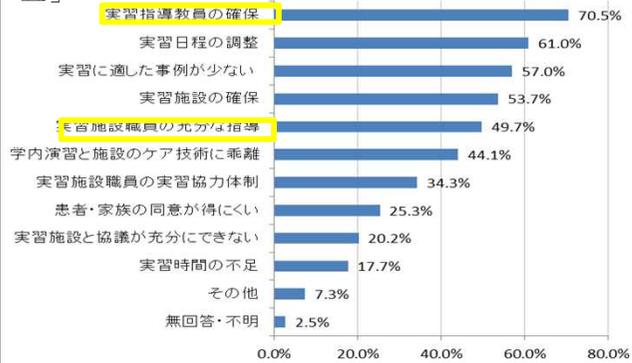
効果 ●健康長寿社会の実現

# 取組(2) メディカルスタッフを対象とした教育プログラム

背景  
(看護師を例に)

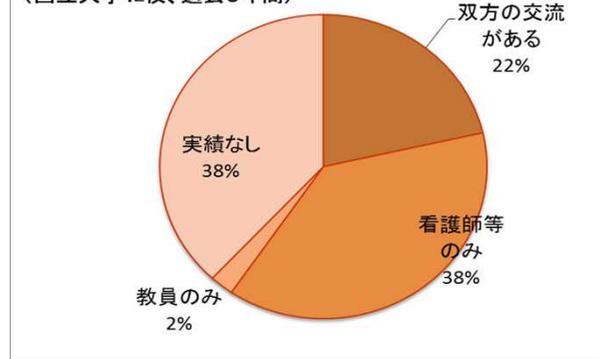
## 教員・教育指導者の不足

臨地実習の問題点 「2006年看護教育基礎調査」



## 大学・臨床の連携の不足

人事交流の実績の有無 (国立大学42校、過去5年間)



## 地域で働く看護師の不足

訪問看護職員は全就業看護職員のわずか2%



## 卒業時の実践能力習得の不足

看護技術80項目について、厚労省の推奨水準と臨地実習の実態を比較。「卒業時点で一人でできない」と回答した学校が5割を超えた看護技術が16項目(20.0%)あった。日本看護協会「2006年看護教育基礎調査」

課題

### チーム医療の推進

チーム医療推進のための専門性の強化と役割の拡大に応えるため、学生・医療人の実践能力を強化

### 教育と臨床の連携強化

学生・医療人の実践能力を強化するため、教育と臨床が連携し、教育指導の質を向上

### 地域医療連携の推進

地域医療連携にかかわる業務に精通し、学生・医療者に地域医療連携の視点や実践を教育できる教育指導者の養成等

取組

大学・実習病院・地域医療機関等が連携を強化し、新たな教育指導体制の構築に取り組む

卒前・卒後の一貫した教育プログラムの開発と臨床の教育指導者の養成

大学教員と実習先の教育指導者の人材交流

地域医療にも貢献できる看護師・薬剤師の養成

成果

大学と実習病院が連携し、効率的・効果的な医療人の教育を行うことで、国民に対する安心・安全な医療提供体制の構築に貢献

- 学生・医療人の効果的・継続的な専門能力の習得・向上
- 優れた教育指導者の養成
- 医療人の教育の連携が進むことによる医療の質向上

# ①地域での暮らしや看取りまで見据えた看護が提供できる看護師の養成

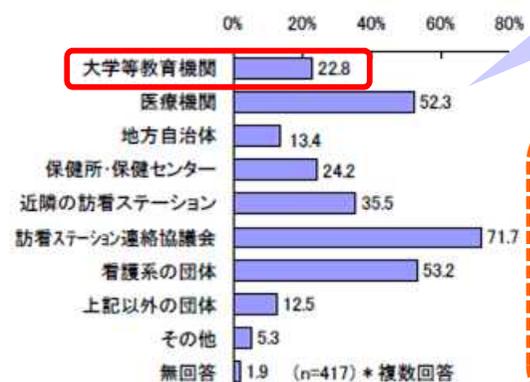
## 課題

- ◆ 看護学生や病院で働く看護師は病院の中で提供する医療を中心に教育されてきた。超高齢化社会においては病院から暮らしの場へ医療・看護をつなぐ教育を充実させて、看護師の専門性を強化していくことが必要
- ◆ 看護系大学の教育の充実に向けた課題:「教育目的に適した多様な教員の構成」「実習環境の充実」「全ての看護職の生涯学習に積極的な貢献をする体制の整備」(大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会最終報告、23年3月)

## 対応

大学・実習病院・地域医療機関等が連携を強化し、新たな教育指導体制を構築する

連携を取っている外部機関があると回答した訪問看護ST417施設の連携先



- 訪問看護ステーションは事業規模が小さく、単独での研修の実施が困難
  - 大学と訪問看護ステーションの教育の連携は乏しい
- (「新卒看護師等の訪問看護ステーション受入れ及び定着化に関する調査研究事業」日本訪問看護振興財団(平成20年)より)

## 取組例

看護系大学、病院看護部、訪問看護ステーション等が連携し、地域医療連携にかかわる業務に精通し、学生・看護師に地域医療連携の実践を教育できる教育指導者の養成

## 【事業の内容】

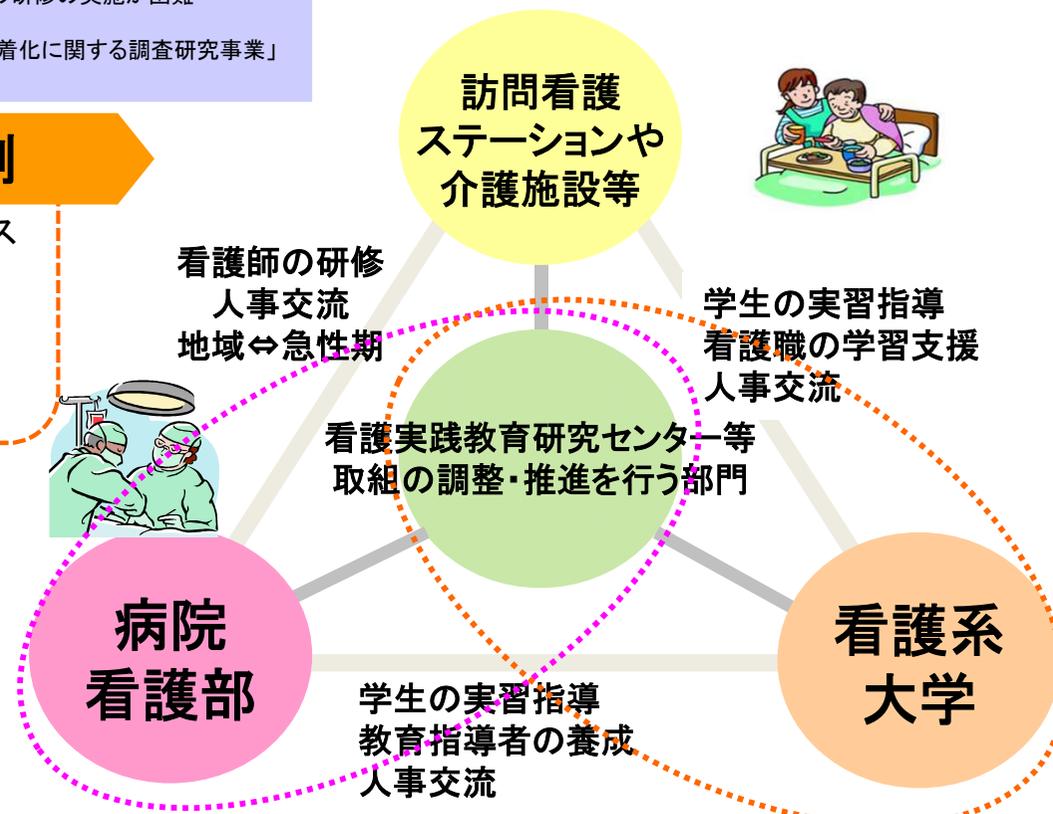
- **看護系大学、病院看護部、訪問看護ステーション等が連携し**、卒前・卒後の一貫した**教育プログラムを開発**する
- 教育プログラムに「男女共同参画」「地域医療介護連携」「チーム医療」の要素を含める
- 病院の看護師から優れた**教育指導者を養成**する
- 教育の場と臨床・介護の場で看護職の**人材交流を実施**する
- **取組を調整・推進する部門**の開設もしくは機能の拡充する

## 成果

- 患者にとって安心・安全な看護が提供できる新卒看護師を効果的に教育指導できる看護師の養成
- 超高齢化社会において患者の急性期の医療から地域での暮らしや看取りまで見据えた看護が提供できる看護師の養成

## 効果

- 国民に対する安心・安全な医療提供体制の構築
- 看護師の教育の連携が進むことによる医療の質向上



## ② 指導力を有し地域医療で活躍できる薬剤師の養成

### 課題

- ◆医療人としての質の高い薬剤師を養成するためには、実務実習の充実と指導者としての現場薬剤師の資質向上が不可欠。
- ◆6年制薬学部においては、モデル・コアカリキュラムに基づく教育を行うことに加え、各大学において養成すべき薬剤師像を明確化し大学独自の教育を行うことが必要。
- ◆在宅医療など地域に密着し、チーム医療に対応できる薬剤師の養成に向けた教育の充実が必要。

### 対応

- ◆大学が病院・薬局等と組織的に連携し、教育プログラムの構築、教育指導者の養成、実務実習の充実を図る。

### 事業の内容

- ・大学が病院・診療所・薬局等と連携し、卒業後を見越した特色ある優れた学部教育プログラムと、卒業後の薬剤師の現職教育プログラムを構築・実施する。
- ・在宅医療、プライマリケア、地域におけるチーム医療について指導できる薬剤師の養成を通じて、実務実習の内容充実と質向上を図る。
- ・大学と病院・薬局のグループ内で薬剤師の交流を促すことにより、薬剤師の資質向上と実務実習の質の底上げを図る。
- ・病院・薬局における実務家教員の研修プログラムを作成・実施する。



### 成果

- 地域医療に貢献できる優れた薬剤師の養成
- 実務実習における高い指導力を持った薬剤師の養成

### 効果

- 国民に対する安心・安全な医療提供体制の構築
- 薬剤師の教育の連携が進むことによる医療の質向上

# ③ チーム医療に貢献でき、高い指導能力をもったメディカルスタッフの養成

## 課題

- ◆ 医療の高度化、患者のニーズの多様化を踏まえた、臨床実習前教育と臨床実習の充実
- ◆ 臨床実習を効果的に実施するため、実習指導者の養成による実習内容の充実
- ◆ 大学教員と実習指導者との連携強化

## 対応

大学と臨床実習先である病院等が連携を強化し、新たな教育指導体制を構築する

### 教育プログラム改善・充実及び実習指導者養成の必要性

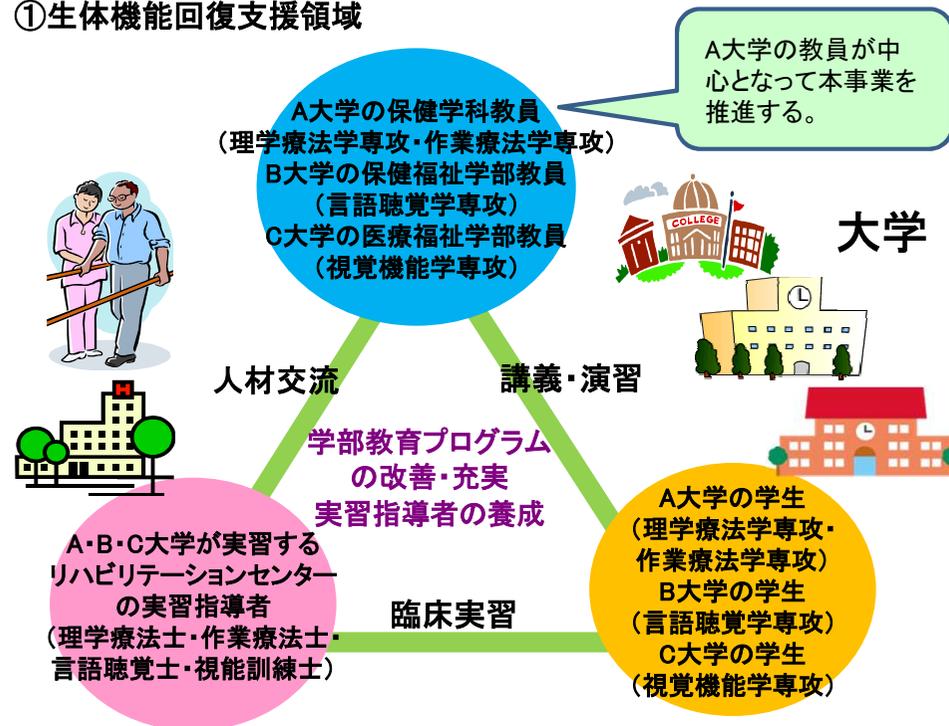
- ① **生体機能回復支援領域（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士）**：近年、理学療法士は整形外科疾患の患者に限らず、脳卒中発症後患者の急性期リハビリテーションや糖尿病患者の運動療法等、様々な疾病をもつ患者への対応が期待されている。また、作業療法士・言語聴覚士については摂食・嚥下チームのチームメンバーとしての役割が期待されていたり、視能訓練士については高齢患者や糖尿病患者の視力低下等の検査・指導等について役割が期待されていたりする。患者のリハビリテーションに対するニーズが多様化し、その対応が求められており、学部教育においては、特に臨床実習で幅広い内容を効果的に教育する必要がある。
- ② **生体機能診断支援領域（診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士）**：近年、診療放射線技師については、「がん対策推進基本計画」に基づく放射線治療等の役割、臨床検査技師については、生理学的検査や遺伝子・染色体検査、生殖医療検査等、様々な高度な検査の役割、臨床工学技士については、高度化する医療機器のより安全な管理の役割について期待が高まっている。いずれも高度で実践的な技術力を必要としており、臨床の診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士が積極的に学部教育に関わる必要がある。
- ③ **口腔機能回復支援領域（歯科衛生士、歯科技工士）**：近年、歯・口腔の疾患が様々な全身の疾患に関与していることがわかってきており、栄養サポートチーム、摂食・嚥下チーム、呼吸サポートチーム等の医療チームにおいて、口腔内ケアにおいて歯科衛生士・歯科技工士は重要なチームメンバーである。特に歯科技工士が、口腔内の器具の開発・改良を提案することで、より効果的な口腔ケア法を創出するといった役割も期待されている。医療チームの一員として活躍できる歯科衛生士・歯科技工士を育成するための実習内容など、教育プログラムの改善・充実が急務である。

※ チーム医療においては、各種メディカルスタッフが各々の専門分野における知識と技術を十分にもち、チームリーダーである医師・歯科医師が各種メディカルスタッフの知識や意見を引き出すことが重要であり、それによって患者の状況に的確に対応した医療を提供することが可能となる。

## 事業の内容

- 大学、実習先病院等が連携し、学部教育プログラムの改善・充実を図る
- 教育プログラムに「チーム医療」の要素を含める
- 実習指導者の指導能力を向上させるための指導者教育プログラムを開発し、実習先である病院等において高い指導能力をもつ実習指導者を養成する
- 教育の場と臨床の場での人材交流を実施する

### ① 生体機能回復支援領域



## 成果

- 学部段階の臨床実習生を効果的に教育指導できる高い指導能力をもった実習指導者の養成
- 患者にとって安心・安全な医療が提供できるメディカルスタッフの育成

## 効果

- 国民に対する安心・安全な医療提供体制の構築
- メディカルスタッフの教育の連携が進むことによる医療の質向上